

## 参加しました! 第21回 町田発国際ボランティア祭・2018 夢広場

まちの駅・ぽっぽ町田 イベント広場 2018年11月3日(祝)

今年も国際ボランティア祭が、盛大に開かれた。主催は、町田国際交流センターを中心とした「2018 夢広場実行委員会」で、町田市などが後援している。

11月3日は「晴」の特異日だそうだが、今年も朝から晴天となった。会場の「ぽっぽ町田」には広場があり、「わんりい」を含め13の団体が各国の民芸品などを出店した。参加国は、「スリランカ」、「シリア」、「ネパール」、「フィリピン」など国際色豊かで、国際ボランティア活動祭に恥じない内容であった。

祭りは10時から、町田市文化・国際交流財団の鷺北理事長の挨拶で始まり、開会式終了直後、「わんりい」お馴染みの永瀬正博さんによるモンゴルの民族楽器・馬頭琴の演奏からスタート。モンゴルの大地と天空に響くような演奏であった。その後、オカリナ演奏、山下孝之さんとその教室の生徒さんによるケーナ演奏と続いて行った。

「わんりい」のブースは、今年もラオスの山の民・モン族への支援でモン族の女性たちが丹精込めて刺繍した美しい大小のポーチやブックカバー、ペンケースなどを販売した。刺繍の色合いやデザインの美しさに、足を止める方も多く、売り上げに繋がった。

昨年、一昨年と出演され会場が大いに盛り上がった、男性の女装パフォーマーである「レディー・ビード」さんの出演はなかったが、フィリピンの女性10数名によるダンスは迫力満点で通りすがりの人

達も足を止め拍手を送っていた。フラダンスもあり活動的で色彩豊かなパフォーマンスが続いた。14時からは、「わんりい」ボイストレーニング講座・講師のEmmeさんによるボイス・トレ体験講座。頭の前からつま先まで動かし心の底から思い切り声を出して練習した上で「赤とんぼ」を会場



笑顔でボイス・トレ指導をする Emme 講師



迫力満点のフィリピン女性たちのダンス

歌はあまり得意ではないが、少し上手になった気がする。

16時に閉会したが、主催者の発表では400人余りの来場者があったそうで、秋晴れの中、それぞ

れが心豊かに楽しんだ一日となった。

なお、この夢広場には「2018町田発夢広場宣言」がなされ、地球上すべての人々と手を携えるべく、「この星に平和と希望を」のスローガンが掲げられていたことを書き添えたい。

(報告：寺西俊英)